

# 事業実績 海外における日本語教育

## 1. 「JF 日本語教育スタンダード」の活用推進 (P.21 参照)

### (1) 「JF 日本語教育スタンダード」改訂

「JF 日本語教育スタンダード 2010」第 3 版第 1 刷を対外発表。  
JF スタンダードを紹介するパンフレットを作成。

### (2) 「JF 日本語教育スタンダード」関係セミナー等

国内外のセミナー、学会、研究会を通じた紹介・活用推進事業計 63 件を実施。

### (3) 「JF 日本語教育スタンダード」普及活動助成

「JF 日本語教育スタンダード」の普及に資する活動を支援するため、海外の日本語教育学会・教師会等が行う事業 7 件に対し助成を実施。

### (4) 『まるごと 日本のことばと文化』

「JF 日本語教育スタンダード」準拠のコースブック『まるごと 日本のことばと文化』初級 1・2 (A2) 「かつどう」、「りかい」を市販化。

## 2. JF 日本語講座 (P.22 参照)

独立行政法人国際協力機構 (JICA) が支援するカンボジア日本人材開発センターにおいて、JF 日本語講座を開講。JF 海外拠点を含め、28 カ国 31 ヶ所で JF 日本語講座を実施。

## 3. インターネットを活用した教育ツール (P.23 参照)

### (1) WEB 版「エリンが挑戦! にほんごできます。」

年間アクセス数約 677 万件 (2010 年度からの累計アクセス数約 2,790 万件)

### (2) 「みんなの教材サイト」

年間アクセス数約 240 万件 (2002 年度からの累計アクセス数約 7,307 万件)

### (3) 「まるごと+ (まるごとプラス)」初級 1 (A2)

#### 「まるごと+ (まるごとプラス)」入門 (A1)

年間アクセス数約 141 万件 (2013 年度からの累計アクセス数約 192 万件)

### (4) 「日本語でケアナビ」

年間アクセス数約 67 万件 (2007 年度からの累計アクセス数約 527 万件)

### (5) 「アニメ・マンガの日本語」

年間アクセス数約 223 万件 (2009 年度からの累計アクセス数約 1,320 万件)

### (6) 「NIHONGO e な」

年間アクセス数約 127 万件 (2010 年度からの累計アクセス数約 518 万件)

## 4. 日本語能力試験 (JLPT) (P.24 参照)

### (1) 第 1 回試験 (7 月 6 日)

海外 23 カ国・地域、105 都市で実施し、206,961 人が受験。

### (2) 第 2 回試験 (12 月 7 日)

海外 65 カ国・地域、208 都市で実施し、242,503 人が受験。  
年間合計の海外受験者数は 66 カ国・地域、213 都市で 449,464 人。  
新規実施国は、南アフリカの 1 カ国。

新規実施都市は、原州 (韓国)、アルバイヘル (モンゴル)、コロンバス、ボルダー (以上米国)、グラナダ (スペイン)、ストラズブル (フランス)、アストラハン (ロシア)、ヨハネスブルク (南アフリカ) の 8 都市。

## 5. 日本語専門家の海外派遣 (P.25 参照)

### (1) 日本語専門家: 40 カ国 126 ポスト

日本語上級専門家: 27 カ国 38 ポスト

日本語専門家: 32 カ国 64 ポスト

日本語指導助手: 17 カ国 24 ポスト

### (2) インターン派遣

日本語教師養成課程を有する国内の大学との連携により、51 大学 260 人の学部生・大学院生に、25 カ国 1 地域の 99 機関における日本語教育実習 (インターン) の機会を提供。

### (3) 米国若手日本語教員 (J-LEAP) 派遣

日米間の文化・人材交流と米国における日本語教育支援を目的とする事業。新規に 9 人を派遣。継続派遣者と合わせ計 20 人が、各地の初中等教育機関でティーチング・アシスタントを務め、現地コミュニティでの日本文化・社会理解促進活動に協力。

## 6. 日本語教育支援プロジェクト (P.25 参照)

海外拠点および各地の中核的な日本語教育機関とのネットワーク「JF にほんごネットワーク (通称: さくらネットワーク)」のメンバーは、47 カ国・地域の 127 機関 (2014 年度末)。21 ヶ所の基金海外拠点で実施する事業スキーム 156 件、4 カ国 4 ヶ所の日本センターで実施する事業スキーム 14 件を運用。さらに、27 カ国・地域の中核メンバーに対する助成事業として 66 件を支援。

この他に、海外拠点からの支援が届きにくい国・地域において、日本語教育機関・団体が実施する活動 63 カ国 149 件を支援。

## 7. 経済連携協定 (EPA) に基づく看護師・介護福祉士候補者の日本語教育 (P.25 参照)

国内研修で最大限の効果をあげるための準備段階として、来日前の現地日本語研修を 2013 年 11 月から 2014 年 5 月まで実施。インドネシアでは看護師 44 人、介護福祉士 147 人が、フィリピン

では看護師 36 人、介護福祉士 151 人が、それぞれ 6 ヶ月の研修を受講。

## 8. 海外の教師を対象とした研修 (P.26 参照)

### (1) 政策研究大学院大学との連携による大学院教育

日本語教育指導者養成プログラム (修士課程): 4 カ国 4 人 (新規)、4 カ国 4 人 (継続)

日本語文化プログラム (博士課程): 1 カ国 1 人 (継続)

### (2) 海外日本語教師上級研修

教材開発等の課題を有する日本語教師を対象にしたプログラムに 6 カ国 10 人が参加。

### (3) 海外日本語教師訪日研修

長期: 29 カ国・地域 57 人

短期: 30 カ国・地域 87 人

JF 講座講師: 24 カ国 41 人

国別

韓国: 55 人

中国: 大学 24 人、中等 19 人

タイ: 86 人

日系人: 3 カ国 4 人

### (4) 海外日本語教育企画事業

にほんご人フォーラム: 日本を含む 6 カ国 36 人

## 9. 海外の学習者を対象とした研修 (P.26 参照)

### (1) 専門日本語研修 (外交官・公務員)

34 カ国・地域 35 人 / 8 ヶ月間

日本語学習に加え、官庁、公的機関、大学等教育機関、民間企業等の訪問、関係者との意見交換を実施。

### (2) 専門日本語研修 (文化・学術専門家)

16 カ国・地域 39 人 / 2 または 6 ヶ月間

情報の収集・発信、関係者との交流など文化・学術専門家としての活動に必要な日本語能力を身につけるための研修、大学院等教育研究機関や国公立の図書館、博物館等の訪問、専門家、関係者との意見交換を実施。

### (3) 日本語学習者訪日研修等

成績優秀者: 63 カ国 63 人

国内大学連携大学生: 24 カ国・地域 73 人

高校生: 10 カ国 35 人

李秀賢氏記念韓国青少年: 20 人

米国 JET 記念高校生: 32 人

### (4) 海外日本語教育企画事業 (大阪府に協力)

大阪府 JET 来日時研修: 3 カ国 11 人

大阪府 QLD 州 (オーストラリア) 日本語教師研修: 4 人

### (5) 日本語教育キャパシティビルディング

東南アジア日本語教員養成大学移動講座: 2 カ国 62 人

## 10. 受託研修 (P.26 参照)

・青年日本語教師派遣前研修 (日露青年交流センター): 1 カ国 19 人

・世界のこども日本語ネットワーク事業 (博報児童教育振興会):

① 第 5 回日本児童海外体験プログラム: 1 カ国 20 名

② 第 5 回海外児童日本体験プログラム: 13 カ国 13 名

③ 第 6 回海外教師日本研修: 12 カ国 13 名

・韓国初中等日本語教師訪日研修: 10 人

・カタール青少年訪日研修 (カタール文化芸術歴史遺産省): 18 人

・フィリピン日系人会国際学校職員プログラム: 10 人

・ニュージーランド高校生訪日研修: 17 人

・キャノンベトナム日本語学習者訪日研修: 1 人

・ニュージーランド中等教育日本語教師研修: 7 人

・大阪ガス国際交流財団インドネシア大学生訪日研修: 2 人

・その他受託研修: 45 人

## 11. 各センターの図書館

日本語国際センター 来館者数: 17,489 人

関西国際センター 来館者数: 16,562 人